



薬局・薬剤師のためのニュースメディア

PHARMACY NEWSBREAK

© じほう 2013

JH 株式会社 じほう

この通信は会員が直接利用される以外、コピー等による第三者への提供は固くお断りいたします

◆電子お薬手帳、目標は「15年度までに30%以上」 今別府医薬食品局長

衆院厚生労働委員会（後藤茂之委員長）が27日に行った薬事法・薬剤師法改正案の質疑では、電子お薬手帳や電子処方箋など、薬に関する情報の電子化が話題に上がった。厚生労働省医薬食品局の今別府敏雄局長は、電子お薬手帳について「2015年度までに、全国の薬局の30%以上でお薬手帳の電子的情報の提供を可能にするという目標値を持って推進する」と述べ、「高い目標」との認識ながらも目標値を定めて進める考えを示した。

今別府局長は「医薬分業の究極の姿としてかかりつけ薬局があり、かかりつけ薬局のツールの一つとしてお薬手帳がある。それが電子化されていれば、なお良いということだ」との認識を表明。「現在、大阪で実証事業がされている」と述べ、電子お薬手帳普及の目標値として15年度に全国の薬局の30%以上との数値を挙げた。

浦野靖人氏（維新）の質問に対する答弁。